



浅野川中学校だより

あさのがわ通信



第76号 令和8年2月19日発行
金沢市立浅野川中学校
Email asanogawa-j@kanazawa-city.ed.jp
学校ホームページURL
<https://kanazawa.schoolweb.ne.jp/1720013>



*学校便り作成にあたり、生徒の文章や写真を使用する場合があります。浅野川中学校個人情報取扱規程を遵守しておりますが、お気付きの点がありましたら学校までご連絡ください。

インフルエンザ流行に伴う感染症対策への協力のお願い ～マスク着用！万全の体調で入試を迎え、全員で最高の卒業式を！～

日増しに春の足音が近づいてきましたが、現在、校内ではインフルエンザの流行が続いています。3月に入ると「公立高校入試」や「卒業式」といった、生徒たちにとって人生の大きな節目となる重要な行事が控えています。

特に3年生は、これまでの努力の成果を発揮する大切な時期です。学校全体で感染拡大を食い止め、全員がベストなコンディションで当日を迎えるよう、当面の間、以下の点について重点的な対策を講じます。



【集会・卒業式練習等でのマスク着用について】

生徒のみなさん「マスク着用」への協力をお願いします。全校集会や卒業式の全体練習、合唱指導など、屋内で多くの生徒が長時間集まる場面では、飛沫感染のリスクを抑えるため、できるだけ「マスク着用」を呼びかけます。



※一定期間、インフルエンザ感染者数や欠席・早退、風邪等の罹患状況を確認して、生徒が集まる場面を必要最小限にとどめます。

※予備を含め、清潔なマスクを常にカバンに入れておくよう、ご家庭でもお声がけください。

【家庭での予防と健康観察の徹底及び出席停止の基準について】

発熱やのどの痛み、せき等の症状がある場合は、無理に登校せず、早めに医療機関を受診してください。また、インフルエンザと診断された場合は、学校保健安全法に基づき「発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで」は出席停止となります。

【感染症対策の継続（手洗い・うがいの励行と十分な睡眠と栄養摂取）】

3年生にとっては、これまでの努力が形になるときです。1、2年生にとっても、先輩を送り出す大切な時期です。一人一人が「うつらない、うつさない」の意識を持ち、この冬一番の山場を共に乗り越えていきましょう。



【保護者の皆様へ】

入試直前に体調を崩すことは、本人にとっても大きな不安となります。石川県公立一般高校入試などの重要な局面を控えた生徒たちを温かくサポートできるよう、引き続きご家庭での感染対策にご理解とご協力をお願いします。



特定外来生物「セアカゴケグモ」に注意！！

18日（水）、金沢市内の「金沢市粟崎みなと台公園」で特定外来生物「セアカゴケグモ」の雌1匹が確認されました。市内では5例目の確認となります。このクモは強い毒を持っており、咬まれると激しい痛みや腫れ、重症化すると全身症状が出る恐れがあるため、十分注意してください。

校区に近い場所での発見です。生徒のみなさんは、身近な場所に潜んでいる可能性を意識し、安全に過ごしましょう。ご家庭でも注意喚起をお願いいたします。

※次ページに金沢市より配付された資料を添付します

セアカゴケグモ・ハイイロゴケグモにご注意ください！

背面	腹面	
		<p>和名 セアカゴケグモ 科名 ヒメグモ科 (Theridiidae) 学名 <i>Latrodectus hasseltii</i> 原産地 オーストラリア 特徴 成熟した雌の体長は、約0.7~1cm。全体が光沢のある黒色で、腹部の背面に目立った赤色の縦条がある。 ※左写真は、若い個体であり、成熟すると白い斑紋は消える</p>
<p>背面に赤色の縦条</p>	<p>腹面に赤色の斑紋</p>	<p>腹部は大きな球状</p>
<p>和名 ハイイロゴケグモ 科名 ヒメグモ科 (Theridiidae) 学名 <i>Latrodectus geometricus</i> 原産地 亜熱帯地方 特徴 成熟した雌の体長は、約0.7~1cm。ハイイロゴケグモの色彩はさまざま、腹部背面が真黒のもの、茶色や灰色を基調として斑紋を有するものなど変異が多い。</p>		
	<p>腹面</p>	<p>背面</p>

ゴケグモの被害について

※毒をもっているのは雌だけです

咬まれたときの症状

- 局所の疼痛、熱感、痒感、紅斑、硬結、区域リンパ節の腫張が生じます
- 通常は数時間から数日で症状は軽減しますが、時に脱力、頭痛、筋肉痛、不眠などの全身症状が数週間継続することがあります
- 重症例では、進行性の筋肉麻痺が生じます

咬まれた場合は

- 咬まれたときは、すみやかに医療機関にご相談ください
- 重症化した場合は抗毒素血清による治療が必要です
- 咬んだクモの種類がわかるように、できれば殺したクモを病院へご持参ください

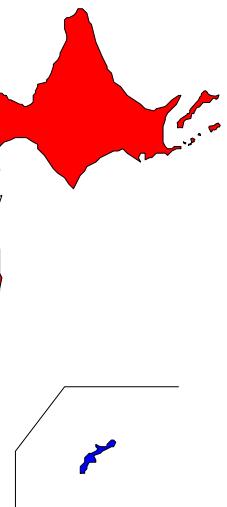
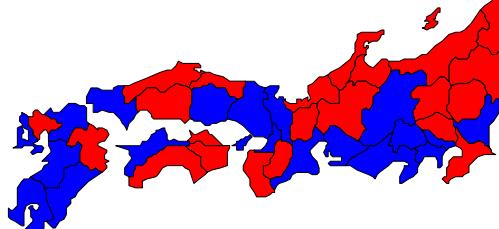
咬傷例

- ゴケグモは攻撃性はありませんが、触ると咬まれることがあります
- 日本では主に6~10月にセアカゴケグモの咬傷例が報告されており、ほとんどが軽症ですが、重症化することもあります
- 日本ではセアカゴケグモの毒で死亡した例はありませんが、オーストラリアでは死者が出ています
(血清開発後の死亡例はありません)

今までにセアカゴケグモ・ハイイロゴケグモが確認された都道府県（全46都道府県）（2025年1月現在）

※ゴケグモが今までに1回しか確認されていない場所も含む
※都道府県単位で着色しています

凡例
■ セアカゴケグモのみ確認：26自治体
■ セアカゴケグモ・ハイイロゴケグモの両方を確認：20自治体



セアカゴケグモとハイイロゴケグモは、港湾地域又はそれに隣接する地域で多く発見されており、コンテナ等に付着して侵入してきた可能性があります。

国内では、貨物やコンテナ、建築資材、自動車等に営巣したもののが運ばれた結果、生息域が広範囲に拡大したと考えられています。

ゴケグモの生息する場所

- 日当たりの良い暖かい場所で、地面や人工物の縫みや穴、裏側、隙間に営巣します
例)自動車、プランターの底、室外機の裏、庭に置いた靴の中など
- 屋外に置かれていた傘、衣服、おもちゃ等に付着して、屋内に持ち込まれる可能性があります
- ゴケグモに咬まれないように屋外で作業する場合は、軍手など手袋を着用してください

ゴケグモを拡散しないために…

ゴケグモの国内での分布域の拡大の抑制のため、
ゴケグモが生息している地域からの車での移動や貨物の運送のときなど、
ゴケグモが車や荷物に付着した状態で移動しないようご注意ください

セアカゴケグモ・ハイイロゴケグモ等のゴケグモ属は、
外来生物法に基づく“特定外来生物”に指定されています

外来生物による生態系、人の生命・身体、農林水産業への被害の防止を目的に、外来生物法では特定外来生物を指定し、これらの生きた個体を持ち運んだり、飼育したりすることを禁止しています。セアカゴケグモ・ハイイロゴケグモ等のゴケグモ属については、人の生命又は身体に関する被害があることから、特定外来生物に指定されています。

外来生物法について詳しく知りたい方は下のURLをご覧ください
<http://www.env.go.jp/nature/intro/index.html>